

コンゴ(共)月例報告  
2016年8月

【ポイント】

- 検事局は、ジャン＝マリ・ミシェル・モココ将軍に対して、新たに治安攪乱容疑をかけた。
- ブエンザ州マディング市内において独立56周年記念式典が開催された。
- コンゴ(共)政府は、本年7月末の返済猶予期間迄に、2007年発行のユーロ債の元本及び利息を支払わず、格付企業各社は軒並みコンゴ(共)国債の格付けを引き下げたが、8月の支払い以降、格付けは戻りつつある。

◎特にソースが明記されていない場合は、「Les Dépêches de Brazzaville」、仏通信(AFP)及び仏ラジオ国際放送局(RFI)による

## 1 内政

### (1)モココ将軍への追加容疑

17日、検事局は、本年6月に「国家に対する内乱罪」容疑及び「違法な戦闘用武器・弾薬の所持罪」容疑によって拘束されているジャン＝マリ・ミシェル・モココ将軍(元参謀長)に対して、新たに治安攪乱容疑をかけた。翌18日に控訴院弾劾部がモココ将軍弁護団から上がった同将軍の一時的解放要求を却下した。なお、同将軍は、3月20日に実施された大統領選挙で3位であった。

### (2)国民対話に関する呼びかけ

5日、2015年に設立されたシビチ国民対話提言フォロー委員会は、野党に対して、「国家対話委員会」を設立する旨規定した新憲法を尊重し、勝手に対話委員会を立ち上げぬよう呼びかけた。

### (3)独立記念式典

15日、ブエンザ州マディング市内(首都ブラザビル西方240Km)において独立56周年記念式典が開催され、赤道ギニア、ギニア、ナミビア、中央アフリカ及びベナンの大統領、コートジボワール下院議長(大統領代理)、上下院議長他議員、憲法裁判所長他裁判官、主要閣僚、各省政府高官、地方政府・議会関係者等が参加した。

## 2 経済

コンゴ(共)政府は、2007年発行のユーロ債4.78億ドルに対する元本及び利子(計2100万ドル)を、本年7月末の返済猶予期間迄に支払わなかった。これを受けて、7月28日以降、格付け各社はコンゴ(共)の長期国債格付を軒並み引き下げ、英国系格付け企業フィッチ社がRD(一部債務不履行)へ、米国系格付け企業ムーディーズ社がB3(投機的とみなされ信用リスクが高いと判断される)へ、米国系格付け企業スタンダード&プアーズ社がSD(債務の少なくとも一部が予定期日に不履行)へと引き下

げた。コンゴ(共)政府は、不払いの理由を「資金流動性の不足ではなく、行政上のミス」と説明した。また、8月18日、コンゴ(共)政府はコミュニケを発表し、8月2日に送金を終えている旨、格付けが戻りつつある旨説明した。

## 2 外交

### (1)EU

3日、コンゴ(共)出張中のコエンEU大湖地域代表は、サス・ンゲソ大統領を表敬訪問し、コンゴ(共)新政府との対話・協力の機会を開拓するよう将来を見据える旨伝えた。

### (2)中国

26日、留学・研修のため中国へ渡航する留学生及び国軍兵士計144名が中国大使館を表敬訪問した。内訳は、国軍司令官級56名、国費留学生40名及びコンゴ(共)孔子学院生18名である。

### (3)アフリカ域内

ア 9日、サス・ンゲソ大統領は、はタロン・ベナン大統領及びカボレ・ブルキナファソ大統領を、サス・ンゲソ大統領の出身地である北部オヨに招き、同大統領らと二国間関係及び治安状況につき協議を行った。

イ 19日、ルワンダはブラザビル市内に大使館を開設した。

## 4 日本に関する報道

27日から28日、ガコソ外務・協力・在外コンゴ(民)人大臣は、ケニア開催されたTICADVIへ参加した。同大臣は、TICADVIのマージンにルト・ケニア副大統領と会談した。